

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2004-13390(P2004-13390A)

【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-002

【出願番号】特願2002-164070(P2002-164070)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 17/21

G 0 6 F 3/12

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 8 0 D

G 0 6 F 17/21 5 6 2 M

G 0 6 F 3/12 G

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月6日(2005.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークに接続された文書処理装置において、

使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段と、

前記書体リスト情報中の書体名を表示する表示手段と、

前記表示手段で表示された書体名から任意の書体を選択するための選択手段と、

前記選択手段によって選択された書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶する手段とを備えたことを特徴とする文書処理装置。

【請求項2】

文書ファイル中で用いる書体に対応する書体データをネットワーク上から受信して使用する文書処理装置であって、

使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段と、

前記書体リスト情報中の書体名をリスト表示する表示手段と、

前記表示手段で表示されたリストから任意の書体を選択するための選択手段と、

文書編集時に前記選択手段によって書体を選択したとき、その書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶する手段とを備えたことを特徴とする文書処理装置。

【請求項3】

前記書体リスト情報は、当該文書処理装置のセットアップ時に前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項1または2記載の文書処理装置。

【請求項4】

当該文書処理装置の起動時にネットワーク上から前記書体リスト情報を受信する書体リスト受信手段を有し、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項1または2記載の文書処理装置。

【請求項 5】

一定の時間間隔でネットワーク上から前記書体リスト情報を受けた書体リスト受信手段を有し、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の文書処理装置。

【請求項 6】

前記書体リスト情報の更新を指示する書体リスト更新指示手段と、ネットワーク上から前記書体リスト情報を受信する書体リスト受信手段とを有し、前記書体リスト更新指示手段により書体リスト情報の更新が指示されたときにネットワーク上から書体リスト情報を受信し、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の文書処理装置。

【請求項 7】

当該文書処理装置の起動時に、ユーザ認証のための ID 情報をネットワーク上のサーバ装置に送信する ID 情報送信手段と、前記 ID 情報によるユーザ認証が完了した後にネットワーク上から書体リスト情報を受信する書体リスト受信手段とを有し、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 4 記載の文書処理装置。

【請求項 8】

ネットワークに接続された文書処理装置の制御方法であって、

使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段から前記書体リスト情報中の書体名を表示する表示行程と、

前記表示行程で表示された書体名から任意の書体を選択するための選択行程と、

前記選択行程によって選択された書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶する行程とを実行することを特徴とする文書処理装置の制御方法。

【請求項 9】

文書ファイル中で用いる書体に対応する書体データをネットワーク上から受信して使用する文書処理装置の制御方法であって、

使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段から前記書体リスト情報中の書体名をリスト表示する表示行程と、

前記表示行程で表示されたリストから任意の書体を選択するための選択行程と、

文書編集時に前記選択行程によって書体を選択したとき、その書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶する行程とを実行することを特徴とする文書処理装置の制御方法。

【請求項 10】

前記書体リスト情報は、当該文書処理装置のセットアップ時に前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 8 または 9 記載の文書処理装置の制御方法。

【請求項 11】

当該文書処理装置の起動時にネットワーク上から前記書体リスト情報を受信する書体リスト受信行程を行い、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 8 または 9 記載の文書処理装置の制御方法。

【請求項 12】

一定の時間間隔でネットワーク上から前記書体リスト情報を受信する書体リスト受信行程を行い、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 8 または 9 記載の文書処理装置の制御方法。

【請求項 13】

前記書体リスト情報の更新を指示する書体リスト更新指示行程と、ネットワーク上から前記書体リスト情報を受信する書体リスト受信行程とを行い、前記書体リスト更新指示行程により書体リスト情報の更新が指示されたときにネットワーク上から書体リスト情報を

受信し、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 8 または 9 記載の文書処理装置の制御方法。

【請求項 14】

当該文書処理装置の起動時に、ユーザ認証のための ID 情報をネットワーク上のサーバ装置に送信する ID 情報送信行程と、前記 ID 情報によるユーザ認証が完了した後にネットワーク上から書体リスト情報を受信する書体リスト受信行程とを行い、受信した書体リスト情報を前記書体リスト記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 11 の文書処理装置の制御方法。

【請求項 15】

ネットワークに接続された文書処理装置の制御方法を実行するための制御プログラムであって、

使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段から、前記書体リスト情報中の書体名を読み出し表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示された書体名から任意の書体を選択するための選択ステップと、

前記選択ステップによって選択された書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶するステップとを備えたことを特徴とする制御プログラム。

【請求項 16】

文書ファイル中で用いる書体に対応する書体データをネットワーク上から受信して使用する文書処理装置の制御方法を実行するための制御プログラムであって、

使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段から、前記書体リスト情報中の書体名を読み出しリスト表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示されたリストから任意の書体を選択するための選択ステップと、

文書編集時に前記選択ステップによって書体を選択したとき、その書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶するステップとを備えたことを特徴とする制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の文書処理装置の制御方法では、ネットワークに接続された文書処理装置の制御方法であって、使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段から前記書体リスト情報中の書体名を表示する表示行程と、前記表示行程で表示された書体名から任意の書体を選択するための選択行程と、前記選択行程によって選択された書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶する行程とを実行することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の文書処理装置の制御方法では、文書ファイル中で用いる書体に対応する書体デ

ータをネットワーク上から受信して使用する文書処理装置の制御方法であって、使用可能な書体の書体名とその書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所とを列挙した書体リスト情報を記憶する書体リスト記憶手段から前記書体リスト情報中の書体名をリスト表示する表示行程と、前記表示行程で表示されたリストから任意の書体を選択するための選択行程と、文書編集時に前記選択行程によって書体を選択したとき、その書体に対応する書体データが存在するネットワーク上の場所を示す情報を文書ファイル中に記憶する行程とを実行することを特徴とする。